

(公財)川野小児医学奨学財団

# 2025年度 奨学生募集



みんなでのりこえる。

川野小児医学奨学財団は、病気で息子を亡くした父親の  
「病に苦しむ子どもを減らしたい」という思いからはじまりました。

1989年に設立され、30年以上にわたって、

小児医学の支援に取り組んでいます。

一緒に、子どもたちの未来を支えてくれる医学生の方を応援します。

月額最大  
7万円  
返済不要

先輩医師  
奨学生との  
交流

他の奨学金と  
併用可

給付期間 2025年4月～正規の最短修業年限まで  
応募受付期間 2025年4月1日(火)～5月21日(水)

※応募は学務課、学生課、教務課等から受け付けますので、該当課にお早目にご相談ください

# 応募資格

次の要件をいずれも満たすものとする

- (1) 身体が健康であり、気質および素行ならびに学業が良好である者
- (2) 埼玉県または千葉県の県内の高校を卒業し、日本国内の総合大学医学部、または医科大学で小児医学を志す大学生、および小児医学研究に従事している大学院生
- (3) 学長、副学長、または学部長の推薦を受けている者
- (4) 当財団の定める給付者としての義務を果たすことができる者



詳細はこちら

# Q & A

Q.他の奨学金と併用は可能ですか？

A.可能です。ただし、他団体が当財団との併用を認めない場合がありますのでご確認ください。

Q.1年生でなくても申し込めますか？

A.申し込めます。応募資格を満たしていれば、学年は問いません。

Q.小児科に興味がありますが、他の科にも興味があります。応募可能ですか？

A.応募可能です。将来的に小児科を選ばなくても、奨学金の返還を求めることはありません。ただし、子どもたちの健やかな成長のために医師として医学、医療に従事される方を対象としています。例えば、小児科・産婦人科・救急科など。



※初回給付は、4月～8月の5ヶ月分を予定しています。

## 奨学生向けプログラムのご紹介

本事業は奨学金をお渡しする事だけが目的ではありません。将来どのような医師になりたいのか考えを深めていただいたり、歩みたいキャリアを築けるよう様々なプログラムを提供しています。

2024年度は「キャリアセミナー」「コミュニケーション研修」「メンタルヘルス研修」を実施しました。

### ●(一例)コミュニケーション研修のご紹介

医療現場においては、医療の知識や技術だけでなく、患者さんやそのご家族、メディカルの方々と丁寧かつ正確にコミュニケーションをはかる力が必要となります。そこで、医療機関における接遇などに精通する講師をお迎えし、「コミュニケーションの基本」について教えていただきました。

内容：①コミュニケーションの基本と重要性 ②感じの良い話し方  
③<実習>話の聴き方 ④<実習>正しい情報伝達



コミュニケーション研修の様子

### ●2025年度以降の実施予定

コミュニケーション研修 授与式当日/キャリアセミナー 9月末  
メンタルヘルス研修 3月中/助成研究成果発表会、川野賞贈呈式 3月上旬  
事務局担当者とWeb面接 年に1回



理事長 川野幸夫

(株式会社ヤオコー 代表取締役会長)

財団名 公益財団法人川野小児医学奨学財団  
所在地 〒350-1124 埼玉県川越市新宿町 1-10-1  
理事長 川野 幸夫 (株式会社ヤオコー 代表取締役会長)  
URL <https://kawanozaidan.or.jp/>  
TEL 049-247-1717 (平日 10時～16時)  
Mail [info@kawanozaidan.or.jp](mailto:info@kawanozaidan.or.jp)  
事業内容 研究助成/奨学金給付/小児医学川野賞/医学会助成  
小児医療施設支援/ドクターによる出前セミナー

### 実績大学(一部)

大分大学、慶應義塾大学、  
東京女子医科大学、東北大学、  
獨協医科大学、福島県立医科大学等  
全国40以上の大学の医学生が  
当財団の奨学生になっています